

日本顕微鏡学会会報

2007
No.3

社団法人 日本顕微鏡学会

■2007年11月30日発行

■〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町
1-25 秋葉原鴻池ビル 3F

■TEL: 03-5207-8813 ■FAX: 03-5207-8816

■E-mail: kenbiky@realize-se.co.jp

■URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsm>

◇年会費の口座自動引き落としのご案内

日本顕微鏡学会では、年会費のお支払いに銀行口座からの自動引き落としをご利用いただけます。自動引き落としをお申し込ただけであれば、お振込みがスムーズに終了いたします。

学会事務局にご連絡いただければ、必要書類をお送りいたしますのでお問い合わせください。

問い合わせ先：〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町
1-25 秋葉原鴻池ビル 3F

(社) 日本顕微鏡学会 事務局

TEL: 03-5207-8813 FAX: 03-5207-8816

E-mail: kenbiky@realize-se.co.jp

秋葉原鴻池ビル 3F

(社) 日本顕微鏡学会 事務局

TEL: 03-5207-8813 FAX: 03-5207-8816

E-mail: kenbiky@realize-se.co.jp

◇第64回学術講演会

標記講演会が下記要領にて開催されます。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

会期：2008年5月21日(水)～23日(金)

会場：国立京都国際会館(京都市左京区岩倉大鷲町422番地)

学術講演テーマ「顕微鏡イノベーション」

問い合わせ先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄官有地

京都大学 化学研究所 構造解析基礎Ⅱ

磯田 正二

E-mail: jsem-office@umin.ac.jp

TEL: 0774-38-3051 FAX: 0774-38-3055

◇シニア会員について

平成18年度よりシニア会員制度が発足いたしました。

本制度では、満60歳以上で、かつ常勤職(フルタイム職)を持たない正会員が、本人からの申請によりシニア会員となることが出来ます。シニア会員は正会員の資格を保有しますが、年会費が6,000円に減額されます。本年度につきましても、4月1日に遡って受け付けますので、ご希望につきましては、下記事務局宛にお問い合わせください。

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-25

秋葉原鴻池ビル 3F

(社) 日本顕微鏡学会 事務局

TEL: 03-5207-8813 FAX: 03-5207-8816

E-mail: kenbiky@realize-se.co.jp

◇ホームページについて

学会ではホームページを開設しています。会員各位のご意見をお待ちしております。URLは以下のとおりです。

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsm>

また、学会のE-mailアドレスは以下のとおりです。

kenbiky@realize-se.co.jp

◇平成20年度分科会・研究部会公募の案内

申請用紙の請求、手続の詳細などは学会事務局へご連絡ください。募集の締切は2008年1月12日までです。

◇永年会員について

正会員歴30年以上でかつ満65歳以上の会員は5年分の会費を一括前納することにより永年会員となることが出来ます(永年会員：終生正会員の資格を保有)。永年会員の申請については下記事務局宛にお問い合わせください。

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-25

◇関係学協会のお知らせ

1) JFCC ナノ構造研究賞主催国際会議 (AMTC1)

主催：(財) ファインセラミックスセンター (JFCC)

日時：2008年6月29日～30日

会場：名古屋国際会議場

問い合わせ先：ナノ構造研究所 ナノスコーピー・シミュレーション部

主任研究員 博士(工学)

森分博紀 (Dr. MORIWAKE Hiroki)

〒456-8587 名古屋市熱田区六野二丁目4
番1号
TEL: 052-871-3500 (代表)
052-889-1666-572 (dial-in)
FAX: 052-871-3599
E-mail: moriwake@jfcc.or.jp

2) Second International Symposium on Atomic Technology
主 催: 大阪大学原子分子イオン制御理工学センター
筑波大学学際物質科学研究センター
日 時: 2007年10月1日(月)～2日(火)
会 場: 淡路夢舞台国際会議場 レセプションホールB
(〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台1番地)
問い合わせ先: 〒565-0871 吹田市山田丘2-1
大阪大学大学院工学研究科原子分子イオン
制御理工学センター
中谷亮一
TEL/FAX: 06-6879-4082
E-mail: nakatani@mat.eng.osaka-u.ac.jp

3) 平成19年度「風戸研究奨励賞」公募の案内
主 催: 財団法人風戸奨励会
日 時: 19年12月31日(月)
問い合わせ先: 東京都昭島市武蔵野3丁目1番2号 日本
電子株式会社内
財団法人 風戸研究奨励会 事務局
E-mail: Kazato@jeol.co.jp

4) 暮らしを支える科学と技術展—世界を変える応用物理
主 催: 社団法人 応用物理学会
日 時: 2007年8月3日(金)～4日(土)の2日間
終了致しました。
会 場: 科学技術館(日本科学技術振興財団)
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1
問い合わせ先: 社団法人 応用物理学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3
井門九段北ビル5階
TEL: 03-3238-1041 (代)
FAX: 03-3221-6245

5) 第13回「ゲートスタック研究会—材料・プロセス・評
価の物理—」
(旧「極薄シリコン酸化膜の形成・評価・信頼性」研究会)
主 催: 応用物理学会薄膜・表面物理分科会, シリコンテ
クノロジー分科会
日 時: 2008年1月14日(月)～15日(火)
会 場: 東レ総合研修センター
(静岡県三島市末広町21-9)
問い合わせ先: 社団法人 応用物理学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3
井門九段北ビル5階
TEL: 03-3238-1041 (代)

FAX: 03-3221-6245

6) 第36回薄膜・表面物理基礎講座(2007年)
「量子構造の基礎から応用まで」
主 催: 応用物理学会薄膜・表面物理分科会
日 時: 2007年11月8日(木)10:00～17:00, 9日
(金)9:00～16:45
会 場: 東京理科大学(神楽坂キャンパス/森戸記念
館・第二フォーラム)
《交通》JR総武線, 地下鉄有楽町線, 東西線, 南
北線飯田橋駅下車, 徒歩5分
問い合わせ先: 社団法人 応用物理学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3
井門九段北ビル5階
TEL: 03-3238-1041 (代)
FAX: 03-3221-6245

7) 第21回特別研究会「走査型プローブ顕微鏡」
15th International Colloquium on Scanning Probe Microscopy
主 催: 社団法人応用物理学会
日 時: 2007年12月6日(木)午後～8日(土)
会 場: 熱川ハイッ(〒413-0302 静岡県加茂郡東伊豆町
奈良本1240-14)
TEL: 0557-23-2300
問い合わせ先: 社団法人 応用物理学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3
井門九段北ビル5階
TEL: 03-3238-1041 (代)
FAX: 03-3221-6245

8) センサーと表面技術・表面科学
主 催: 日本表面科学会関西支部&表面技術協会関西支部
日 時: 2008年1月24日(木曜日)13:00～17:30
会 場: 神戸大学瀧川記念学術交流会館(神戸市)
神戸市灘区六甲台町1-1 (TEL: 078-803-5583)
<http://www.kobe-u.ac.jp/info/access/index.htm>
問い合わせ先: 日本表面科学会 関西支部幹事
中尾 基
〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1
九州工業大学 工学部
TEL・FAX: 093-884-3608
E-mail: nakao-m@mns.kyutech.ac.jp

◇平成19年度第1回理事会議事要旨

日 時: 平成19年5月22日(火)12:00～13:00
会 場: 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
(新潟県新潟市中央区万代島6番1号)
出席者: 理事: 高柳邦夫, 菅沼龍夫, 川上速人, 大谷
修, 杉山昌章, 亙理文夫, 高橋一郎, 進藤大輔,
福嶋球琳男, 柿林博司, 出澤真理
監 事: 山口正視
【議事】定款により高柳会長が議長となり, 議事録署名人に

川上、大谷常務理事を選出し議長挨拶の後、理事会メンバーの紹介が行われ議事に入った。

【会長挨拶】高柳会長

【報告事項】

1. 平成17-18年度理事会からの申し送りについて、川上常務理事より報告がなされた。

申し送り事項など

- (1) 会員増強活動と学会活性化について
- (2) IFSM, CAPSM 両連合との密接な連絡体制について
- (3) 会員サービスについて
- (4) 平成20年度公益法人化について
- (5) 学会誌 (JEM と和文誌) について
- (6) 名簿作製について
- (7) 男女共同参画の取り組みについて
- (8) 日本顕微鏡学会60周年記念事業について
- (9) 各イベントのノウハウ引継ぎについて
- (10) 研究部会、分科会の活動について
- (11) 財務について
- (12) 学会各賞など選考について

【議題】

1. 平成19年度年間予定について川上常務理事より説明があり、第1回常務理事会と第2回理事会を7月21日(土)に開催することが承認された。また、第64回学術講演会の開催(京都国際会館、5月21日~23日)に合わせて第5回常務理事会と第5回理事会の開催日時を5月20日(火)とすることが承認された。
2. 次回理事会の審議事項について、第65回学術講演会、60周年記念式典、第19回サマースクール、第52回シンポジウム、各賞選考委員会を審議事項に含め、各実行委員長を決定することなどが承認された。
3. 次回理事会には従来通り、オブザーバーとして和文誌編集委員長、欧文誌編集委員長、監事に出席を求める事、必要に応じてその他委員長に出席を求めることが承認された。
4. 申し送り事項について
 - (1) 会員増強活動と学会活性化について：菅沼副会長が会員増強委員会委員長として具体的な対策を準備し次回理事会にて審議する事が承認された。
 - (2) IFSM, CAPSM 両連合との密接な連絡体制について：IFSM に関しては高柳会長がブラジルで開催される第17回国際顕微鏡学会議 (IMC17) まで担当理事とし、CAPSM 担当理事は次回理事会で決定する事が承認された。
 - (3) 会員サービスについて：次回理事会での継続審議となった。
 - (4) 平成20年度公益法人化について：今後の進め方について継続審議することが承認された。
 - (5) 学会誌について：和文誌の季刊化の方法については和文誌編集委員会と連絡をとりつつ理事会での継続審議

となった。JEMは完全電子化することが確認された。

- (6) 名簿作成について：川上庶務常務理事が次回理事会で具体案を提出することが承認された。
 - (7) 男女共同参画の取り組みについて：継続して検討することが承認された。
 - (8) 日本顕微鏡学会60周年記念事業について：実行委員長を次回理事会で決定することが承認された。
 - (9) 各イベントのノウハウ引継ぎについて：滞りなく引き継ぐように各委員長へ通達することが承認された。
 - (10) 研究部会、分科会の活動について：内規により菅沼副会長が学術運営委員長として活動を取りまとめ、各会が活動しやすい環境の整備に努めることが承認された。
 - (11) 財務について：次回理事会で財務状況の説明を大谷会計常務理事にお願いし、会員へのサービスなど適切な使用目的を策定することが承認された。
 - (12) 学会各賞について：「推薦のお願い」など会員への通知を徹底させることが承認された。
5. アジア圏への学会活動について：次回理事会にて、財務と併せて検討することが承認された。

◇平成19年度第2回理事会議事録

日時：平成19年7月21日(土) 14:00~17:00

会場：東京八重洲ホール

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-4-13

出席者：理事：高柳邦夫、菅沼龍夫、川上速人、大谷修、杉山昌章、竹田精治、亙理文夫、進藤大輔、高橋一郎、依藤 宏、福嶋球琳男、柿林博司、年森清隆、楠美智子、弘津禎彦、出澤真理
欧文誌編集委員長：市野瀬英喜 和文誌編集委員長：高井義造、広報委員長：丹司敬義

関東支部長：中村吉男 関西支部長：永山國昭

第63回学術講演会実行委員長：牛木辰男

第64回学術講演会実行委員長：磯田正二

第18回サマースクール実行委員長：小澤一史

【議事】

定款により高柳会長が議長となり、議事録署名人に川上・大谷常務理事を選出した。

議長挨拶ならびに理事会開催の定数に達していることを確認し、慣例によるオブザーバーの出席について議長より提案があり、承認され議事に入った。

【会長挨拶】高柳会長

【議事録確認】川上常務理事より平成18年第5回理事会議事録、19年総会議事録、平成19年度第1回理事会議事録の確認があり承認された。

【報告事項】

1. 庶務報告

川上常務理事より学会理事登記の件、事務局移転の件などが報告された。

2. 会計報告

大谷常務理事より過去10年の財務状況、19年度現状の収支報告がなされた。

3. 欧文誌編集委員会報告

市野瀬委員長より電子化の件などが報告された。

4. 和文誌編集委員会報告

高井編集委員長より42-2号の件、IMC16記念特集号の件、会誌季刊化には次の理事会で最終決定をして頂く必要があることが報告された。

5. 第18回サマースクール開催報告

小澤委員長報告より現在56名の参加登録があり8割が非会員、全国の企業からの参加が多いこと、内容はTEM、SEMの基本と応用をテーマとしてやさしく説明することなどが報告された。

6. 第51回シンポジウムの件

竹田常務理事より説明がなされ10月19日-20日徳島大学永井記念ホールにて予定通り開催されること、文部科学省の方に徳島でも講演をいただけるように準備をしていることなどが報告された。

7. 第17回電頭大学報告

市野瀬校長より4月19日-20日東京工業大学大岡山キャンパスにて開催し111名の参加があったことが報告された。

8. 第63回学術講演会報告

牛木実行委員長より5月20日-22日に開催され参加人数854名、懇親会300名であったことが報告された。また写真コンクール開催、託児室を用意したことなども合わせて報告があった。

9. 第64回学術講演会準備状況報告

磯田実行委員長より京都国際会館のパンフレットなどが配布され会場の様子が説明された。

10. 支部報告

北海道支部

亙理支部長より役員会を6月に開催した件、2月の雪祭りに講演会を合わせるなど若手や学生発表がやりやすいようにしている件、賞を支部で設ける準備をしている事などが報告された。

関東支部

中村支部長より6月に幹事会を開催した件、3月支部講演会などの予定があることが報告された。公益法人法改正に伴い関東支部としての要望などについて説明と検討依頼がなされた。

関西支部

永山支部長より6月に幹事会を開催した件、19年度の活動案、体制、予算について報告がなされた。また関西では64回学術講演会、51回シンポジウムなどが開催されることが報告された。

九州支部

菅沼副会長より技術研究会を9月に開催し講演会を12月1日に開催予定であることなどが報告された。

11. 広報委員会報告

丹司委員長より学会長の挨拶を更新予定である件、HPの和文誌の目次を最新に更新準備中である件、電頭写真についてギャラリーの開設などの意見についてHPで一部公開しておりギャラリーとしての準備には著作権などの問題があり検討中であること、学会HPと文部科学省の顕微鏡関連のプロジェクトHPとのリンクを進める事を検討している件などが報告された。

12. その他

a 会員増強委員会

弘津理事より17-18年度会員増強委員会活動について、説明がなされ結果を会員に周知していただきたい旨の依頼があった。

菅沼副会長より新規会員増強委員会の人選の件、アンケートを会誌へ挟み込み会員に周知する件について進めることが報告された。

その他2

b 市野瀬委員長よりIMCのプロシーディングス70冊程度について事務局で保管することが報告された。

【議題】

1. 第65回学術講演会の件

常務理事会より第65回は仙台での開催について提案がなされ承認された。また実行委員長は寺内正巳会員へ打診頂くことが承認された。

2. 第19回サマースクールの件

常務理事会より名古屋での開催、委員長に臼倉治郎会員が推薦され本件打診することが承認された。

3. 第52回シンポジウムの件

年森清隆理事を実行委員長として推薦され承認された。

4. 第18回電頭大学の件

川上常務理事より電頭大学実行委員長は任期が2年であり板東先生が2年目であることが説明され承認された。

5. 60周年記念の件

川上常務理事より学術講演会実行委員長が担当することが説明され承認された。

6. IFSM、CAPSMとの連携の件

高柳会長より諸外国との情報交換などを目的として理事会で具体的に案を考える必要があるとの提案が出され次回理事会にて継続審議されることとなった。

7. 各賞選考委員の件

川上常務理事より常務理事会での議論結果を基に瀬藤賞選考委員長、主査、委員、論文賞選考委員長、主査、委員、技術功労賞選考委員長、主査、委員、奨励賞選考委員長、主査、委員が推薦され承認された。

8. 学会組織の件

高柳会長より広報活動、国際的活動、公益法人化の促進、国際学会での事業誘致など具体的審議を進める事が提案され次回の理事会で継続審議されることとなった。

9. 公益法人特務委員会の件

杉山常務理事より公益法人化へ向けてのスケジュールや準備について説明がなされ顕微鏡学会理事会としては公益法人化を目指すこと、委員会を常務理事会の人選にて早急に設立、予算計画や定款変更などに関する事項の勉強会を開催するなどの準備をすることが承認された。

また臨時総会を徳島でのシンポジウムの際に出来れば開催し、評議員会や総会開催方法の公益法人化に伴う変更概略を説明し、公益法人化のための準備委員会作成の必要性、そのための年度内予算化に関する審議・承認事項を行うことが検討された。その結果、臨時総会開催の是非を会長に一任することが承認された。

10. 入退会の件

川上常務理事より説明が行われ承認された。

11. 協賛・後援依頼の件

川上常務理事より説明があり承認された。

12. その他

a 名簿作成について

川上常務理事より名簿作成に関する事項について冊子体（有料）とCD版（無償）、を製作することなどの説明がなされ予算に関しても承認された。

また学会のプライバシーポリシーが提示、承認され、プライバシーポリシーに準じて作業をおこなう事が併せて説明され承認された。

b イベント開催場所の公募について

継続審議されることとなった。

c 男女共同参画について

ワーキンググループの意見を参考に次回理事会での継続審議となった。